

「もう一度、あの笑顔に会いたくて」

九十九歳の
女性利用者
Aさん

週3回元気に
大月富士見苑の
デイサービスに通い
いつも笑顔で仲間と
過ごしていました

目標は
「もう」
元気になって
また日本舞踊に
挑戦したい」

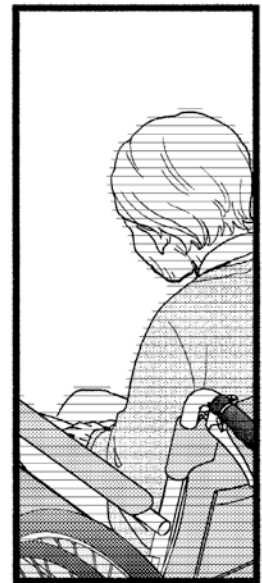


Aさんは
本当パワフル
ですね

鍛え方が
違うんだよ

その明るい笑顔は
職員や利用者
皆の励みでした

あははは...





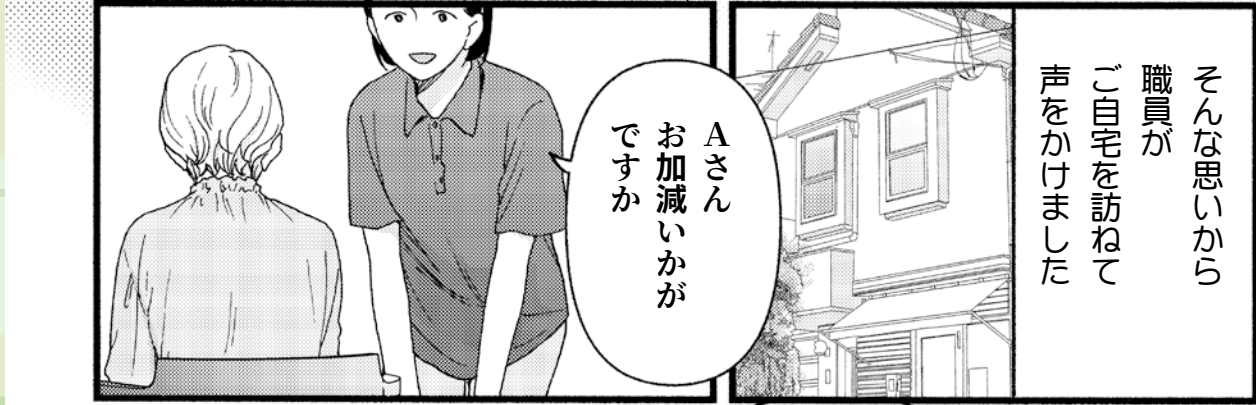
あの笑顔を
もう一度見たい

それでも

主治医の先生は
そう仰ってます
けど

あんなにお元気な
Aさんが…なんだか
信じられないですね

骨折だものねえ
回復までが大変
だし…



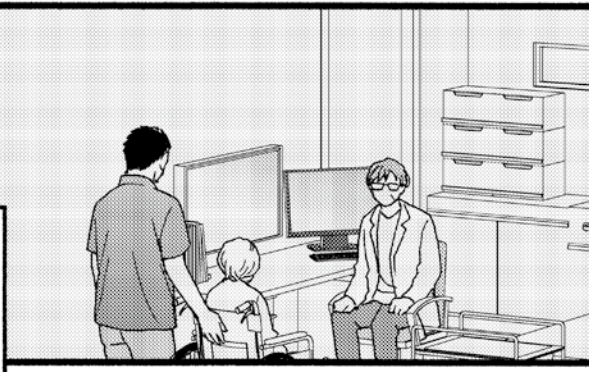
Aさん
お加減いかが
ですか

そんな思いから
職員が
ご自宅を訪ねて
声をかけました

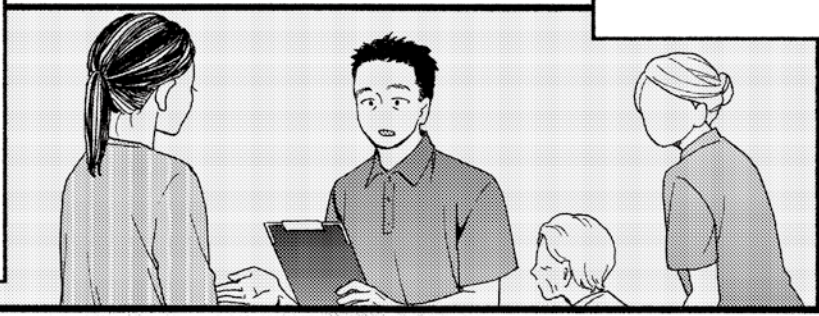


すると本人が
「またデイに
行きたい」と
話してくださる

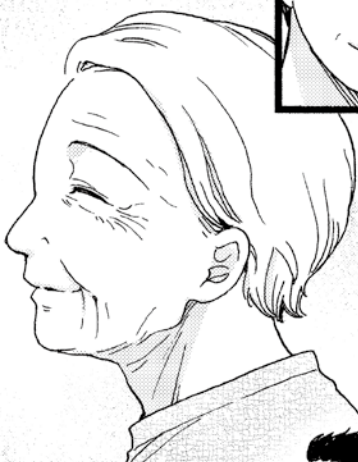
体調を見ながら
通所を再開
することに
なりました




主治医の見立ては
「いっ何があっても
おかしくない」



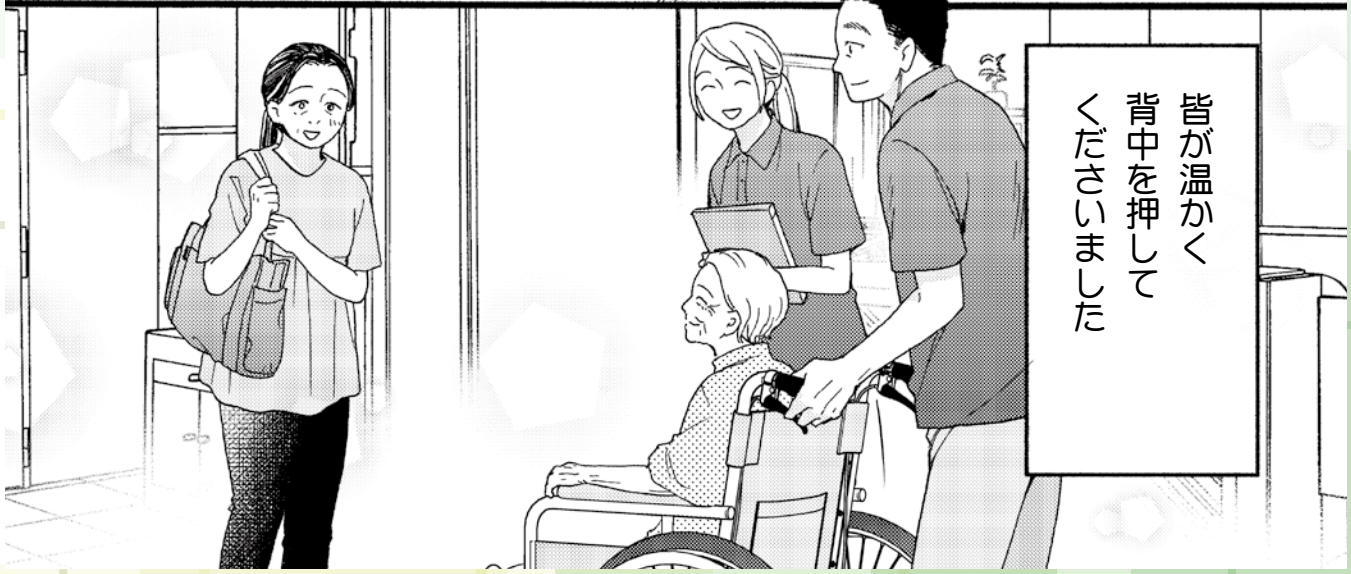
それでも
ご家族や
遠方の子どもたちと
何度も話し合い



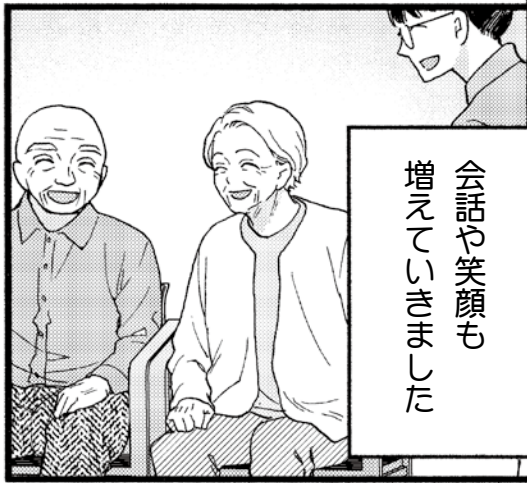
“何があっても
本人の幸せの
ために”



…こんなに
いい笑顔を
見せてくれるなら



皆が温かく
背中を押して
くださいました

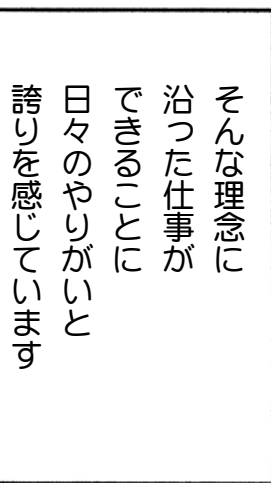


会話や笑顔も
増えていきました

通じづかに
少しずつ
食欲が戻り
体重も増え



仲間と過ごす時間が
生きる力になった
のだと思います



経営理念
「しあわせを共に」

デイで過ごす
そのひとときが
Aさんにとって
心から安らげる
時間になっていると
感じます

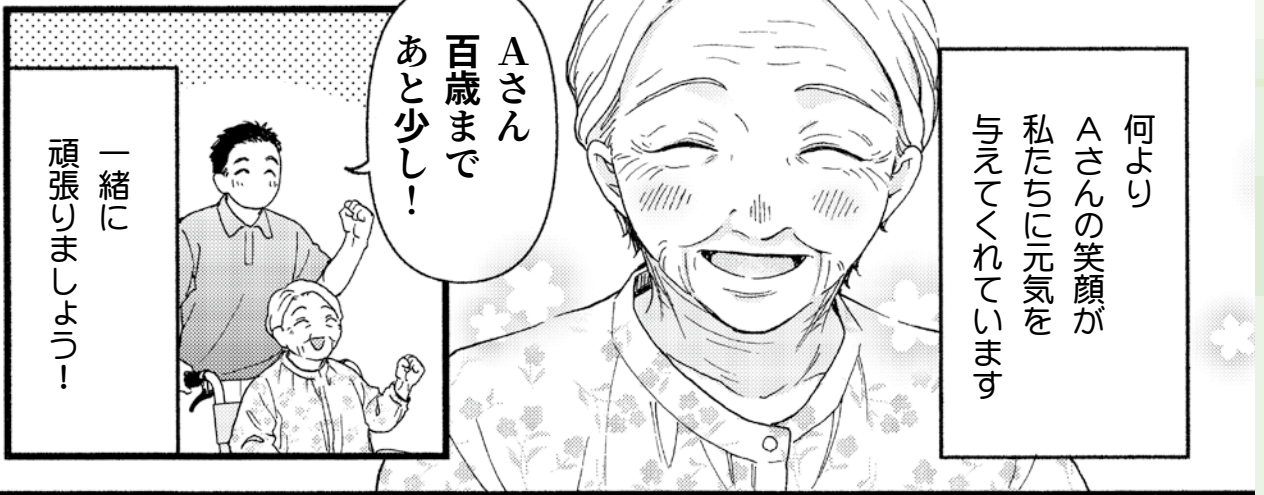


「自分らしく
生きる」ことを
支える大切さ

Aさんの姿を
通じて改めて
学びました

これからも
Aさんが
安心して笑顔で
過ごせるよう

職員一人一人が
心を合わせて
寄り添い
続けたいと
思います



何より
Aさんの笑顔が
私たちに元気を
与えてくれてます

一緒に
頑張りましょう!

Aさん
百歳まで
あと少し!

やまなし介護感動ストーリー大賞 準グランプリ作品②

「もう一度、あの笑顔に会いたくて」

星野 淳さん

九十九歳の女性利用者Aさんは、それまで週3回、元気に大月富士見苑のデイサービスに通い、いつも笑顔で仲間と過ごしていました。目標は「もっと元気になって、また日本舞踊に挑戦したい。」その明るい笑顔は、職員や利用者みんなの励みでした。けれども大腿骨を骨折し、入院生活を余儀なくされました。退院後は食欲も落ち、表情も乏しくなり、主治医からは「もうデイサービスに通うのは難しいでしょう」と告げられました。それでも、あの笑顔をもう一度見たいという思いから、職員がご自宅を訪ねて声をかけました。すると本人が「またデイに行きたい」と話してくださり、体調を見ながら通所を再開することになりました。主治医の見立ては「いつかあってもおかしくない。」

と、みんなが温かく背中を押してくださいました。通ううちに少しずつ食欲が戻り、体重も増え、会話や笑顔も増えていきました。仲間と過ごす時間が、生きる力になったのだと思います。デイで過ごすそのひとときが、Aさんにとって心から安らげる時間になっていると感じます。

Aさんの姿を通して、年齢を重ねても「自分らしく生きる」ことを支える大切さを改めて学びました。これからもAさんが安心して笑顔で過ごせるよう、職員一人ひとりが心を合わせて寄り添い続けたいと思います。経営理念「しあわせを共に」に治った仕事ができること、日々のやりがいと誇りを感じています。そして何より、Aさんの笑顔が私たちに元気を与えてくれます。

Aさん百歳まであと少し！
一緒に頑張りましょう！

それでもご家族や遠方の子どもたちと何度も話し合い、「こんなにいい笑顔を見せてくれるなら、何があっても本人のしあわせのために」